



RENKEI

第27号

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター

TEL : (0852)61-3741 FAX : (0852)21-5377

メールアドレス : renkei@shakyou-matsue.jp

住所 : 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

ホームページもご活用下さい ▶▶▶

松江市在宅医療介護

検索

松南第一包括エリア

多職種連携会議 津田地区つだんだん会 立ち上がりました!!

多職種連携による生活支援

松江市では、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることが出来るよう、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー等地域における医療と介護の関係者の緊密な連携が求められています。

多職種連携会議は、それぞれ地区ごとの地域課題について、多職種で共有し解決に向けた取り組みを進めながら、医療・介護関係者の連携をより確かなものにすることを目的に、松江市内の様々な地域で開催されています。

今年度、新たに松南第1包括エリアの“津田地区”にて、多職種連携会議が立ち上がりました！

令和6年9月11日 第1回目のスタッフ会を開催。訪問看護師、ケアマネジャー、精神保健福祉士等が集まり、津田地区に必要な取り組みや、日々の連携の課題について話し合いました。

会議の場所は、東津田にある“ケアプロ訪問看護ステーション”さんに提供いただきました。

高齢化が進んでいる地域に、集会場があって体操教室をしているけど、坂があってそこまでいけない人がいる。

津田地区に高齢で元気な方が活躍できる場所があるといい。

利用者さんと毎年避難場所を確認している。災害に備えて模擬避難訓練をしたい。

医療・介護現場は人材不足が言われているが、職場環境をどのように整えている？

第一回目の会議でしたが、集まった医療・介護関係者のみなさまからは、今後この会で取り組んでみたいこと、津田地区の様子や課題、日々の困りごと等、たくさんの意見がでて、とても盛り上がりました！顔の見える関係の強化を進めて、連携がより良いものになるよう支援をしていきます。

令和6年度 第1回 松江市病病連携推進会議

今年度も引き続き、松江市10病院・安来市2病院の地域連携に係る担当職員の集まり「松江市病病連携推進会議」を6月13日(木)に開催しました。

開催に先立ち、松江市内10病院(一般病院7か所、精神科病院3か所)、安来市内2病院に、病病連携推進会議で取り組みたいことや、日々の課題についてアンケート調査を実施。

調査の結果、**「身寄りがいない方への支援について、情報交換や連携」を行いたいという声が多くあがりました。**そのため、令和6年度は身寄りがいない方への支援をテーマに病病連携推進会議をすすめることにしました。

当日の会議では、当センターから、支援に関わる機関の為に松江市と松江市社協が作成した「松江市身寄りがいない人への支援ガイドライン」の説明を行いました。(松江市・松江市社協各々のHPよりダウンロード可能)

意見交換では



身寄りがいない方のケースが増えており、他病院でどのように対応されているか知りたい。



金銭管理と死亡時の対応が曖昧だと受け入れしなくてもできないこともある。困難事例としてどのようなケースがあったか、共有したい。



各機関での取り組みも大事だが、行政も巻き込み地域全体で考える仕組みになっていくといいと思う。

など、貴重な意見がたくさん出ました。



10月の第2回目の病病連携推進会議では、身寄りのない人の支援について、松江市内の地域包括支援センターの相談員とグループワークを実施します。支援の際の具体的な困りごとや、連携に関する疑問点について話し合う予定です。

身寄りのない人を支援する上で、病院と地域の医療・介護・福祉関係者との連携は欠かせません。地域包括支援センターとの意見交換を行うことで、身寄りのない人への支援について、お互いの理解や役割を知る機会になればと考えています。

まつえアドバンス・ケア・プランニング 普及・啓発推進協議会 フェスティバル出展

01 令和6年度 6月30日

松江市健康福祉フェスティバルが開催されました。

《 松江市健康福祉フェスティバル ブース出展 》

まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会で、普及・啓発ブースを出展し、たくさんの方にお越しいただきました!! 120名の方に終活支援ノートを手にとっていただき、12名の方が相談コーナーを利用され、多くの方にACPについて知っていただくことが出来ました。



アンケート結果

ブース
来場者
69名に
実施

松江市医師会 泉先生
に終活支援ノートについて
説明してもらう島根県観光
キャラクターしまねっこ
島観連許諾第8263号

人生会議(ACP)について、知っていましたか。

	回答数	%
よく知っている	14	21
聞いたことはあるがよく知らない	23	33
知らない	32	46

最終段階の医療・ケアについて、ご家族や医療・
介護関係者と話し合ったことがありますか。

	回答数	%
詳しく話し合っている	1	2
一応話し合っている	20	21
考えているが話し合ったことはない	35	51
考えたことはない	13	26

アンケートを実施した
結果、ACPについて良く
知らない人が約8割で、
ACPを実施している人
(話し合ったことがある)
は、2割程度という結果
になりました。



まつえアドバンス・ケア・プランニング 普及・啓発推進協議会 総会・研修会

02 令和6年度8月23日

まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会総会研修会が開催されました。

《 総 会 》

会則の変更についてと、昨年度の活動報告・今年度の活動計画について承認がありました。

《 研修会 》

ACPをより多くの医療・介護関係者のみなさまに学んでいただけるよう、今年度から研修会を一般公開で開催しました。研修会では、ACPの取り組みについて医療と介護の立場から、それぞれ協議会委員に発表いただきました。

介護の立場から

松江圏域老人福祉施設協議会 副会長 杉谷 健 氏

- 看取りケアは特別なケアではなく、日常的ケアの延長がその方の人生を終える時と考え、日々の関わりを大切にすること
- 看取りケアの指針や施設独自の看取りケアノートの活用について等、施設でのACPについて具体的にお話いただきました！



医療の立場から

松江市歯科医師会 副会長 内藤 晋一 氏

歯科が出来るACPについて、ACPの3つの段階に合わせてそれぞれの取り組みについてお話いただきました！

- ① 元気なころ：オーラルフレイル予防等
- ② 病気になったころ：歯科治療等
- ③ 終末期：誤嚥性肺炎の予防等



このような活動を通して今後、より多くの住民のみなさまにACPに取り組んでいただけるよう当協議会では地域住民のみなさまへの普及・啓発活動を引き続き行っていきます！！

インフォメーション

01

在宅医療・介護あんしんガイドを改訂しました!!

元気だと思っても急に体調を崩したり、今後の生活に不安を感じたりすることは誰にでも起こることです。そんな時、地域の医療・介護・福祉などのサービスを知って活用できる、お役立ち情報をまとめた一冊を当センターでは、市民のみなさまに配布をしています。

医療・介護関係者の皆様も是非、手に取っていただきご活用ください。

▶▶▶ 配布場所

松江市内地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センター、松江市介護保険課

▶▶▶ アクセス方法 HP

松江市社会福祉協議会 > 松江市在宅医療・介護連携支援センター>在宅医療・介護あんしんガイド



終活支援ノートの出前講座で、在宅医療・介護あんしんガイドも配布しています。終活支援ノートと合わせて、日頃の支援にお役だてください!!

02

松江圏域訪問看護ステーション一覧表 改訂しました!

「松江圏域（松江市・安来市）訪問看護ステーション一覧表」令和6年度版を改訂しました。各訪問看護ステーションのアピールポイントに加え、医療対応状況やリハ職配置、リソースナースの配置も組み込んであります。参考にしてください。

▶▶▶ アクセス方法

松江市在宅医療・介護連携支援センター > 訪問看護・訪問リハ・通所リハ・高齢者施設情報 一覧 > 訪問看護ステーション 一覧表